



2023年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月13日

上場会社名 株式会社三機サービス 上場取引所 東
 コード番号 6044 URL <https://www.sanki-s.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北越 達男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 川崎 理 (TEL) 079-289-4411
 経営管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2023年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年5月期第2四半期の連結業績(2022年6月1日~2022年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|-------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年5月期第2四半期 | 6,291 | 16.9 | 79 | 49.1 | 80 | 51.3 | 61 | 6.0 |
| 2022年5月期第2四半期 | 5,383 | △7.2 | 53 | △60.2 | 53 | △60.7 | 57 | △29.4 |

(注) 包括利益 2023年5月期第2四半期 72百万円(24.1%) 2022年5月期第2四半期 58百万円(△29.6%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| 2023年5月期第2四半期 | 円 銭 10.36 | 円 銭 — |
| 2022年5月期第2四半期 | 9.78 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------------|--------------|-----------|---------------|
| 2023年5月期第2四半期 | 百万円 5,522 | 百万円 3,010 | % 54.5 | 円 銭 507.18 |
| 2022年5月期 | 5,081 | 3,017 | 59.4 | 509.09 |

(参考) 自己資本 2023年5月期第2四半期 3,010百万円 2022年5月期 3,017百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|----------|-------------|----------|--------------|--------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 2022年5月期 | 円 銭 — | 円 銭 0.00 | 円 銭 — | 円 銭 15.00 | 円 銭 15.00 |
| 2023年5月期 | — | 0.00 | | | |
| 2023年5月期(予想) | | | — | 16.00 | 16.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年5月期の連結業績予想(2022年6月1日~2023年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|------|-------|------|-------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 14,370 | 24.1 | 460 | 108.2 | 462 | 105.9 | 307 | 99.4 | 51.88 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 2023年5月期2Q | 5,943,485株 | 2022年5月期 | 5,943,485株 |
| 2023年5月期2Q | 8,610株 | 2022年5月期 | 16,510株 |
| 2023年5月期2Q | 5,928,703株 | 2022年5月期2Q | 5,926,969株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年5月期第2四半期の個別業績(2022年6月1日~2022年11月30日)

(1) 個別経営成績 (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年5月期第2四半期 | 6,123 | 17.3 | 123 | 121.1 | 127 | 127.1 | 103 | 112.9 |
| 2022年5月期第2四半期 | 5,219 | △7.7 | 55 | △62.2 | 56 | △62.4 | 48 | △43.2 |

(注) 連結業績と個別業績に大きく乖離が生じておりますが、これは2022年12月1日の企業結合に伴う取得関連費用が連結業績においてのみ費用計上されることが大きな要因となっております。個別業績の開示については、投資判断に有用な情報であると判断したため、今回は参考資料として開示しております。

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-----------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年5月期第2四半期 | 17.49 | - |
| 2022年5月期第2四半期 | 8.22 | - |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年5月期第2四半期 | 5,500 | 3,032 | 55.1 | 510.99 |
| 2022年5月期 | 5,055 | 3,003 | 59.4 | 506.71 |

(参考) 自己資本 2023年5月期第2四半期 3,032 百万円 2022年5月期 3,003 百万円

2. 2023年5月期の個別業績予想(2022年6月1日~2023年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----|--------|------|------|-------|------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通 期 | 14,000 | 24.2 | 457 | 103.1 | 459 | 100.2 | 305 | 108.2 | 51.54 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明会資料の入手方法)

当社は、2023年1月17日(火)に機関投資家向け決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料については、2023年1月16日(月)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 9 |
| (重要な後発事象) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に対し、行動制限や海外渡航制限の緩和等により経済活動は一定の回復傾向にあるものの、不安定な世界情勢の影響や急激な円安の進行、資源価格の高騰や半導体の供給不足などが続いており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻くメンテナンス業界におきましては、設備の維持管理コストを減少させるための省エネ化など、持続可能な社会の実現につながる事業形態への対応が求められており、そのニーズにいち早く応えるべく事業改善や新たなサービスの提案に取り組んでおります。

また、2022年7月11日付で公表した新中期経営計画（2023年5月期～2025年5月期）において、2030年の目指す姿として「安心・快適な空間のインフラを技術・データ・ITでプロデュース（クリエイト）する会社」を掲げた上で、2023年5月期からの3年間を収益基盤強化期と位置付けております。2030年へ向けて当社の提供するトータルメンテナンスサービス、環境ソリューションサービス及びメンテナンスサービスで保有する技術を、より広く、より深く、深化（進化）していくことで、当社のMISSIONである「空間インフラのもと快適、ずっと安心な空間を提供すること」に繋がり、お客様により良いサービスが提供できると考えております。

このような環境下において、当社グループは、24時間365日稼働のコールセンターを核としたトータルメンテナンスサービスを強みとして、社内に蓄積されたノウハウやデータに基づき突発的な修理不具合を未然に防止する保全メンテナンス及び環境改善を考えた省エネ等の提案営業を行うことで、お客様の潜在的ニーズを掘り起こすことに注力してまいりました。また、自社メンテナンスエンジニアの多能工化（大型吸気式冷温水機をはじめとして小型パッケージエアコン等の各種空調機器を扱うことができること）を推進することや新入社員の早期育成を行うために、引き続き当社研修センターでの実機研修による人材育成を行っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間につきましては、付加価値の高い環境ソリューションサービスにおける省エネ工事が順調に増加したことや、新たに大口取引先のトータルメンテナンスサービスが始まったこと等により、売上高は6,291,975千円(前年同期比16.9%増)、売上原価4,930,809千円(前年同期比16.4%増)となりました。また、販売費及び一般管理費は、今後拡大が想定されるトータルメンテナンスサービスへ対応するための積極的な採用活動による人件費の増加や当第2四半期連結会計期間に支払った企業結合の取得関連費用等により、1,282,129千円(前年同期比17.0%増)となりました。これらの結果、営業利益は79,036千円(前年同期比49.1%増)、経常利益は80,710千円(前年同期比51.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は61,439千円(前年同期比6.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ473,486千円増加し4,528,411千円となりました。主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が945,408千円増加した一方で、現金及び預金が426,756千円減少したこと等によります。

また、固定資産は、前連結会計年度末に比べ32,277千円減少し994,116千円となりました。主な要因は、無形固定資産が48,707千円減少したこと等によります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ441,209千円増加し5,522,528千円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ495,337千円増加し2,046,418千円となりました。主な要因は、工事未払金が454,785千円増加したこと等によります。

また、固定負債は、前連結会計年度末に比べ46,780千円減少し466,084千円となりました。主な要因は、長期借入金が44,996千円減少したこと等によります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ448,557千円増加し2,512,503千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ7,347千円減少し3,010,024千円となりました。主な要因は、利益剰余金が27,465千円減少したこと等によります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前年同四半期連結会計期間末に比べ210,037千円減少し1,092,124千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は前年同期に比べ50,098千円増加し281,116千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が104,903千円、仕入債務の増加額が454,785千円あった一方で、売上債権の増加額が945,107千円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は13,529千円(前年同四半期は54,543千円の収入)となりました。これは主に、定期預金の預入れによる支出が6,003千円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は前年同期に比べ27,629千円減少し141,190千円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が44,996千円、配当金の支払額が88,717千円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月期の連結業績予想につきましては、2022年7月14日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年5月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年11月30日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,772,342 | 1,345,585 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 1,821,963 | 2,767,371 |
| 未成工事支出金 | 55,222 | 72,119 |
| 原材料及び貯蔵品 | 23,094 | 21,197 |
| その他 | 382,483 | 323,023 |
| 貸倒引当金 | △181 | △886 |
| 流動資産合計 | 4,054,924 | 4,528,411 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 209,406 | 203,873 |
| 土地 | 91,984 | 91,984 |
| その他(純額) | 11,086 | 6,283 |
| 有形固定資産合計 | 312,476 | 302,141 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 271,281 | 222,574 |
| 投資有価証券 | 105,178 | 113,605 |
| 長期前払費用 | 124,305 | 120,521 |
| 退職給付に係る資産 | 13,873 | 36,788 |
| 繰延税金資産 | 143,484 | 141,031 |
| その他 | 60,592 | 62,253 |
| 貸倒引当金 | △4,800 | △4,800 |
| 投資その他の資産合計 | 442,634 | 469,400 |
| 固定資産合計 | 1,026,393 | 994,116 |
| 資産合計 | 5,081,318 | 5,522,528 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 工事未払金 | 897,340 | 1,352,125 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 89,992 | 89,992 |
| 未払法人税等 | 51,870 | 61,418 |
| 賞与引当金 | 130,627 | 125,574 |
| その他 | 381,250 | 417,307 |
| 流動負債合計 | 1,551,080 | 2,046,418 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 205,855 | 160,859 |
| 退職給付に係る負債 | 137,280 | 136,923 |
| 資産除去債務 | 16,448 | 16,536 |
| 長期末払金 | 150,885 | 150,885 |
| その他 | 2,396 | 880 |
| 固定負債合計 | 512,865 | 466,084 |
| 負債合計 | 2,063,945 | 2,512,503 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年5月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年11月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 616,652 | 616,652 |
| 資本剰余金 | 504,352 | 504,970 |
| 利益剰余金 | 1,913,902 | 1,886,437 |
| 自己株式 | △15,305 | △6,945 |
| 株主資本合計 | 3,019,603 | 3,001,114 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △5,082 | 593 |
| 為替換算調整勘定 | 2,851 | 8,316 |
| その他の包括利益累計額合計 | △2,230 | 8,909 |
| 純資産合計 | 3,017,372 | 3,010,024 |
| 負債純資産合計 | 5,081,318 | 5,522,528 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2021年6月1日 至2021年11月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2022年6月1日 至2022年11月30日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 5,383,904 | 6,291,975 |
| 売上原価 | 4,234,801 | 4,930,809 |
| 売上総利益 | 1,149,102 | 1,361,165 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,096,095 | 1,282,129 |
| 営業利益 | 53,007 | 79,036 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 315 | 90 |
| 受取配当金 | 708 | 802 |
| 受取手数料 | 501 | 496 |
| 受取家賃 | 600 | 600 |
| 為替差益 | 2,230 | — |
| その他 | 1,434 | 1,339 |
| 営業外収益合計 | 5,791 | 3,329 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 903 | 549 |
| 租税公課 | 600 | 50 |
| 為替差損 | — | 198 |
| 株式報酬費用 | 1,185 | 738 |
| 有価証券償還損 | 2,122 | — |
| その他 | 643 | 119 |
| 営業外費用合計 | 5,455 | 1,655 |
| 経常利益 | 53,343 | 80,710 |
| 特別利益 | | |
| 退職給付制度改定益 | — | 24,192 |
| 固定資産売却益 | 24,160 | — |
| 特別利益合計 | 24,160 | 24,192 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 2,226 | — |
| 特別損失合計 | 2,226 | — |
| 税金等調整前四半期純利益 | 75,276 | 104,903 |
| 法人税等 | 17,300 | 43,464 |
| 四半期純利益 | 57,976 | 61,439 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 57,976 | 61,439 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 57,976 | 61,439 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 366 | 5,675 |
| 為替換算調整勘定 | 123 | 5,464 |
| その他の包括利益合計 | 489 | 11,140 |
| 四半期包括利益 | 58,466 | 72,579 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 58,466 | 72,579 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 75,276 | 104,903 |
| 減価償却費 | 63,825 | 60,956 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △174 | 691 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △2,309 | △5,101 |
| 退職給付に係る資産の増減額 (△は増加) | △3,570 | 1,277 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 1,951 | △357 |
| 受取利息及び受取配当金 | △1,023 | △893 |
| 支払利息 | 903 | 549 |
| 株式報酬費用 | 13,210 | 14,512 |
| 退職給付制度改定益 | — | △24,192 |
| 有価証券償還損益 (△は益) | 2,122 | — |
| 固定資産除売却損益 (△は益) | △21,933 | — |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △350,735 | △945,107 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △105,825 | △14,999 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 323,188 | 454,785 |
| その他の流動資産の増減額 (△は増加) | △51,501 | 63,718 |
| その他の流動負債の増減額 (△は減少) | △127,326 | 44,003 |
| その他 | △426 | 558 |
| 小計 | △184,348 | △244,694 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,375 | 893 |
| 利息の支払額 | △886 | △532 |
| 法人税等の支払額 | △47,174 | △36,783 |
| 法人税等の還付額 | 16 | — |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △231,017 | △281,116 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △6,003 | △6,003 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △9,424 | △637 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 27,698 | — |
| 無形固定資産の取得による支出 | △13,344 | △809 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △246 | △250 |
| 有価証券の償還による収入 | 54,992 | — |
| 資産除去債務の履行による支出 | △4,055 | — |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △810 | △1,839 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 9,037 | 624 |
| 長期前払費用の取得による支出 | △2,720 | △4,035 |
| その他 | △578 | △578 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 54,543 | △13,529 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △44,996 | △44,996 |
| 配当金の支払額 | △87,873 | △88,717 |
| 自己株式の取得による支出 | △27,898 | — |
| その他 | △8,053 | △7,477 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △168,820 | △141,190 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 2,149 | 3,076 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △343,145 | △432,759 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,645,307 | 1,524,884 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,302,162 | 1,092,124 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(重要な後発事象)

当社は、2022年10月21日開催の取締役会において、当社を株式交換完全親会社とし、株式会社兵庫機工（以下「兵庫機工」）を株式交換完全子会社とする株式交換（以下「本株式交換」）を行うことを決議し、2022年12月1日付で本株式交換を実施いたしました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社兵庫機工

事業の内容 鋼製建具製造及び取付工事

② 企業結合を行った主な理由

当社は、長年培った専門性とメンテナンスノウハウを活かし、店舗・施設のあらゆる設備のメンテナンスを請け負うトータルメンテナンスサービスを展開しております。一方、兵庫機工は、事務所や店舗・工場・倉庫などの各種建物を対象とした金属製ドア・シャッター・サッシの製造及び取付工事を展開しております。また、省エネ製品や防火設備に関する製造、販売、施工を一貫して手掛けることを強みとし、大手ゼネコン等の取引先との強固な関係性も築いております。

兵庫機工が当社グループに入ることで、兵庫機工の保有する建具・消防施設関連の技術を活用し、三機サービスの提供するサービスを深化（進化）させることができると考えております。

③ 企業結合日

2022年12月1日（株式取得日）

2022年12月20日（みなし取得日）

④ 企業結合の法的形式

当社を株式交換完全親会社、兵庫機工を株式交換完全子会社とする株式交換

⑤ 結合後企業の名称

変更ありません。

⑥ 取得した議決権比率

100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が株式を対価として株式会社兵庫機工の全株式を取得したことによるものであります。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

| | | |
|-------|----------------------|-----------|
| 取得の対価 | 企業結合日に交付した当社の普通株式の時価 | 576,000千円 |
| 取得原価 | | 576,000千円 |

(3) 株式の種類別の交換比率及びその算定方法並びに交付した株式数

①株式の種類別の交換比率

兵庫機工普通株式1株に対して、当社の普通株式25.6株を割り当てております。

②株式交換比率の算定方法

当社は、株式交換比率の検討に際し、その公平性・妥当性を確保するため、当社、兵庫機工から独立した第三者機関である株式会社AGSコンサルティングに株式交換比率の算定を依頼しました。その算定結果を参考に、同社の財務状況、資産の状況、将来の見通し等の要因を総合的に勘案し、当社及び兵庫機工の間で株式交換比率について慎重に協議を重ねた結果、本株式交換における株式交換比率を決定いたしました。

(4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 32,380千円 (概算額)

(5) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。